

蔵前産業株式会社

認定テーマ名：群馬県東毛地域の織物を活用した新しいパッケージの開発・販売

1. 認定事業の現況

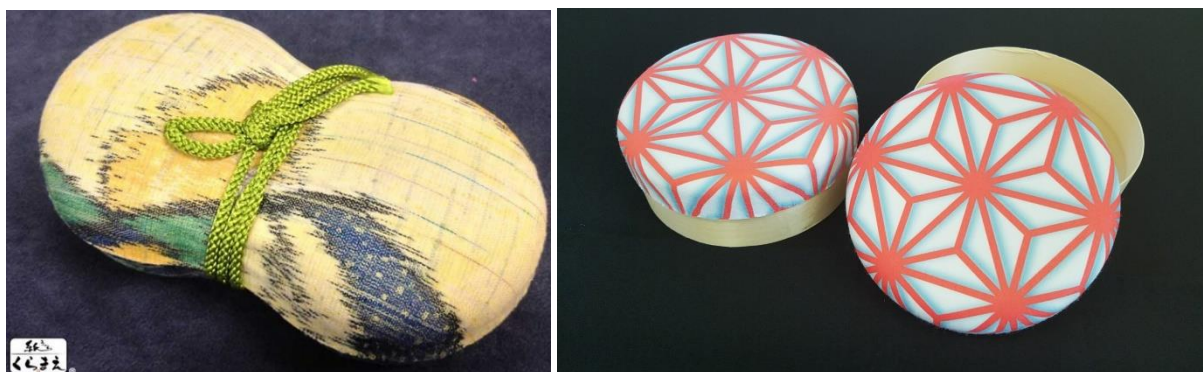
当事業は、地域資源である群馬県東毛地域の伝統商品である織物を生かし、かつ当社の金型技術と絞り紙容器の成形技術を活用した従来にない新しいパッケージをつくることにある。

当社の金型技術と絞り紙容器の成形技術を織物と融合した「織物一体成型」技術を活用し、商品としては、織物と板紙を貼り合わせたものをプレス金型により加熱成形してつくるパッケージとなる。

本事業の基盤となった絞り紙容器は、平成 29 年度に「GOOD DESIGN AWARD 2017」にてグッドデザイン賞を受賞するとともに、その製法に対する特許を取得するに至った。

もともと、紙容器金型製造と金型成形技術を活用した受注型企业であったが、自社が能動的に開発・販売することができる自社ブランドの確立を求めている。

本事業によって、これまで有していなかった自社ブランドの販路開拓に関するリソースを補完しながら、自社ブランド「紙うつわ くらまえ」の拡販に努めている。



▲織物特有の凹凸を残したまま、織物の模様と質感を生かした織物貼合容器

2. 今後の展望（見通し）

紙にデザインを印刷し、金型で成形した絞り紙容器に関しては、生産が追い付かないほどの受注を受けることができるようにまでに至った。

今後は、より付加価値の高い織物と板紙を貼り合わせた容器へ販売をシフトさせ、事業部単体で十分な収益を上げるまでに成長させることで、人員の増員並びに製造設備の追加投資を計り、より強固な事業体制を構築していく。

また、販売量を増やしていく上で、営業に割ける人員が限られていることから、インターネットを活用した情報発信を強化していく。

3. 認定を目指した経緯

平成 19 年に「新連携」にて別テーマで国からの認定を受けていた。

認定を取得することによるメリットは理解できており、本事業においても、様々なサポートを受ける必要があることから、地域産業資源活用における認定を目指すこととした。

当事業で開発した「紙うつわ」は、新市場への進出となる。

当時は、自社ブランドの確立や販路開拓に関するノウハウ・情報が不足しており、地域産業資源活用の認定を取得することで、群馬県内の支援機関や中小機構のサポートを受けて、不足しているリソースを補なっていくこととした。

また、当社にとって新たな事業であるため、社内における予算取りが難しい状況にあった。

認定を取得することで「新事業促進支援補助金（現ふるさと名物応援補助金）」を申請することができ、試作機の導入等を押し進めていくことを目指した。

4. 利用した中小機構の支援策

認定を取得したことによって活用した中小機構の支援策は、以下の3点である。

①販路開拓コーディネート事業

当社にとって、新しい市場を目指す当事業においては、紙容器関連の業界に関する情報が不足していたとともに、業界の慣習や業界のニーズを把握できていなかった。

販路開拓コーディネート事業を活用することで、高級旅館、結婚式場などの慶弔施設、洋菓子・和菓子製造業者、和装小物製造業者などへ個別に訪問し、各チャネルにおける容器のニーズや使途、商慣習などを把握するとともに、業界に対するネットワークを構築していった。

②中小機構枠における展示会出展

当事業において、もっとも効率的な販路開拓方法は、展示会に出展し、当事業の商品を実際に手に取ってもらうことにある。

ギフトショーや新価値創造展等で企画される中小機構枠に応募し、低単価で出展することで、コストを抑えながら、効率的な販路開拓を実現することができた。

ターゲットを絞り込めずにいた当社にとって、本事業の商品に興味を持ってもらえる業界関係者に多数会うことができたとともに、商談を進めていく中で商品開発の新たなヒントを得ることができた。

③専門家によるハンズオン支援

群馬県内の支援機関、商業デザイナー、工業デザイナー、繊維試験場の担当者、中小機構のアドバイザーを交えての2か月に1回開催するプロジェクト会議を、事業期間の間コンスタントに継続し、事業の進捗状況や直面している課題、今後の展開方法などの情報を共有しながら進めることで、それぞれが担うことができる役割を通じて、事業を進めていくことができた。

5. 企業概要

事業者名	蔵前産業株式会社		
本社所在地	群馬県前橋市上大島町176-44		
ホームページアドレス	http://kamiutsuwa-kuramae.com/		
設立年月	昭和44年1月		
資本金	48,000千円	従業員数	32名
売上高	非公開		

※平成29年12月31日現在

6. 認定事業の概要

テーマ名	群馬県東毛地域の織物を活用した新しいパッケージの開発・販売
テーマの概要	<p>群馬県東毛地域は、古くから織物の産地として発展を遂げ、現在では、編物、縫製、染色、刺繍等、複合的な技術集積を有する繊維産地となっている。国内の長引く繊維不況の中、当産地も衰退傾向にあり、新たな分野で織物を利用し、伝統を継承することなどが求められている。</p> <p>本事業では、東毛地域の織物を生かし、かつ当社の金型技術と絞り紙容器の成形技術を活用し、従来にない「和洋菓子等のギフトパッケージ」を中心とした新しいおもてなしパッケージを開発・販売する。</p>
認定期間	平成 25 年 3 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日